



H A S H I K A M I 2023年(令和5年)

No.55

11月号 (November)

はしがみ 議会だより

暮らし人
地域を豊かに



～町民運動会～

4年ぶりに町民運動会が、9月24日に開催されました。



三陸復興国立公園
みちのく潮風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会



9月定例会

令和4年度決算 黒字継続中

※定例会・臨時会の議事録は階上町 HP に掲載しております。

第4回 9月定例会

令和5年第4回定例会を9月5日開会し、9月8日閉会しました。
今回の議会では、認定1件、報告2件、条例の一部改正1件、補正予算4件、
その他2件 計10件が上程されました。審議の結果、いずれも認定、可決、同
意しました。一般質問は、3人の議員が行いました。

令和4年度決算を認定

決算内容の詳細については、令和5年10月号の広報はしかみに掲載されましたので、前年度との比較を中心にした内容になります。

依存財源：77.5% (国・県などから交付・割り当てられるお金)

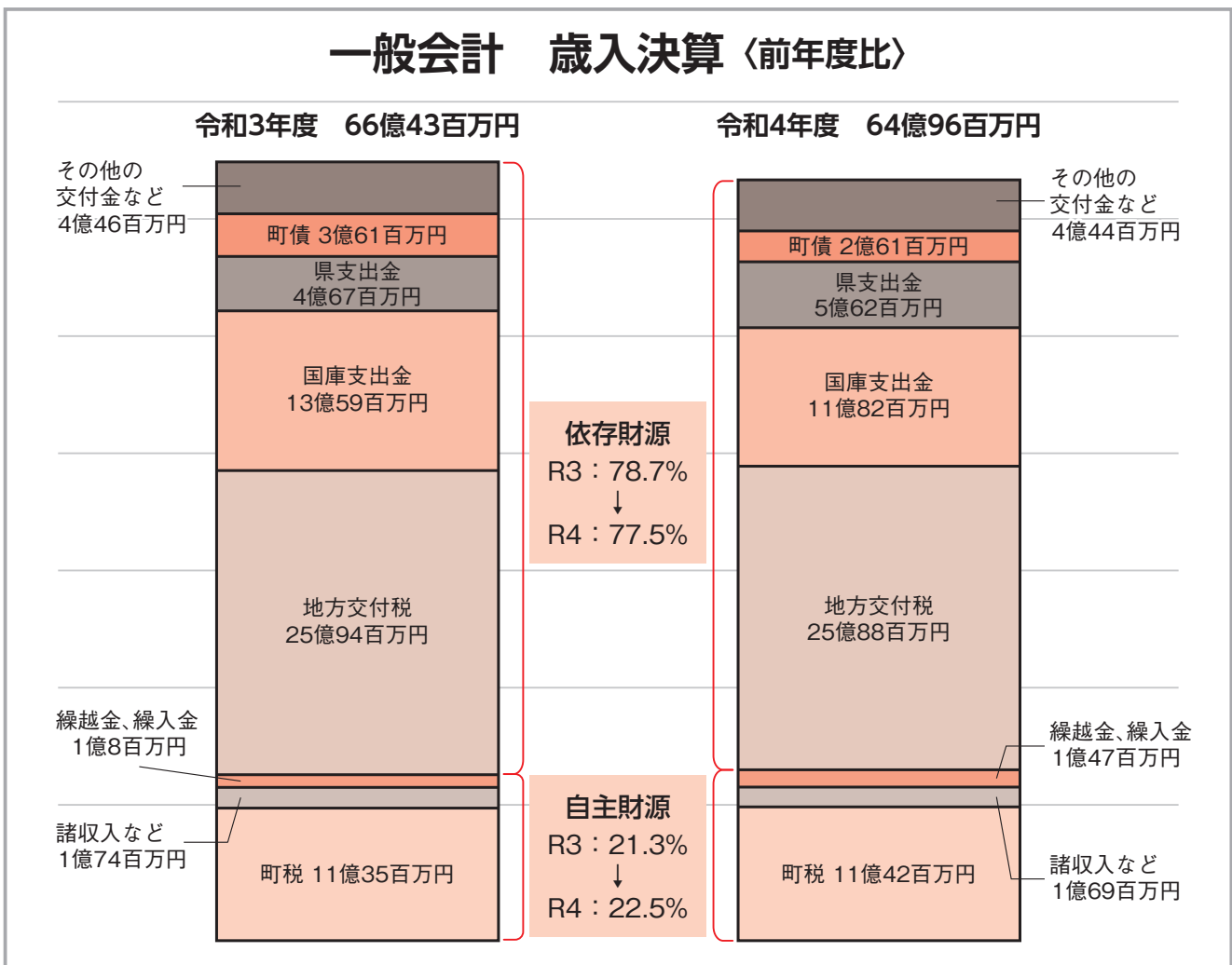
自主財源：22.5% (町が自力で集められるお金)

3億285万8,365円の 黒字継続中

歳入 64億9,564万1,835円
歳出 61億9,160万2,470円
翌年度へ繰り越すべき財源
118万1,000円

※金額は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

一般会計 歳入決算〈前年度比〉



諸収入など：使用料・手数料、分担金・負担金、諸収入など

その他の交付金など：地方消費税交付金、地方譲与税、法人事業税交付金等のその他の交付金

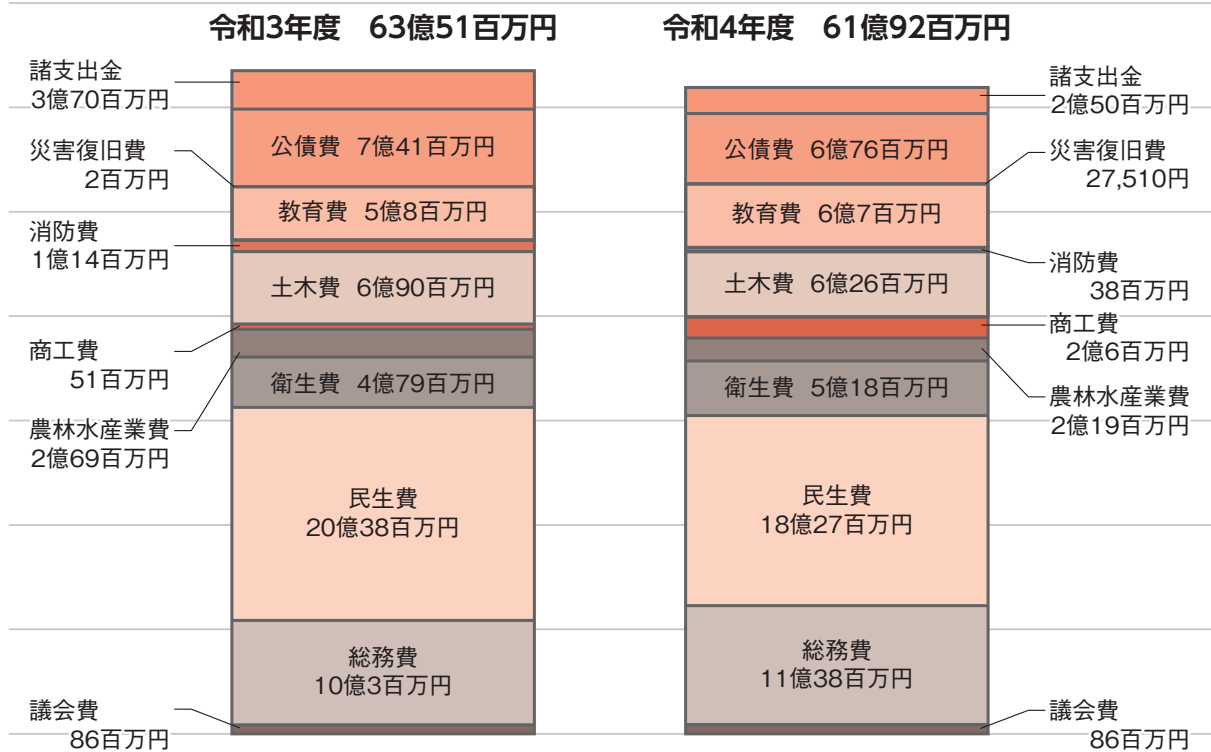
〈増額となった主な理由〉

県支出金が約95百万円増額：県の新型コロナウイルス感染症市町村総合対策事業や子育て世帯臨時特別給付金事業の県分が皆増となったため

〈減額となった主な理由〉

国庫支出金が約1億78百万円減額：国の子育て世帯への臨時特別給付金事業や住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業の国庫分が減額となったため

一般会計 目的別 歳出決算額 〈前年度比〉



〈増額となった主な理由〉

総務費：小舟渡集会所移転新築工事等が約1億32百万円増額

商工費：大蛇さわやかトイレ整備事業が約35百万円、はしかみ暮らし応援商品券交付事業が約1億34百万円増額

教育費：学校トイレ洋式化事業が約88百万円増額

〈減額となった主な理由〉

民生費：住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金が約1億19百万円、子育て世帯臨時特別給付金が約1億27百万円減額

消防費：第3分団屯所移転新築事業分が約61百万円減額

令和4年度 主な事業

【コロナ関係】

○はしかみ暮らし応援
商品券事業

134,430千円

全町民を対象に、1人
当たり1万円の商品券を
配布



○新型コロナワクチン
接種事業

99,880千円

4回目及び5回目の
接種を実施

○学校トイレ洋式化事業
87,692千円

赤保内小学校及び道仏
小学校の全ての和式トイ
レを、飛沫感染予防効果
のある蓋付き洋式トイ
レに改修



洋
式
化
さ
れ
た
道
仏
小
学
校
の
ト
イ
レ

【その他】

○小舟渡集会所移転新築
工事関係

132,132千円



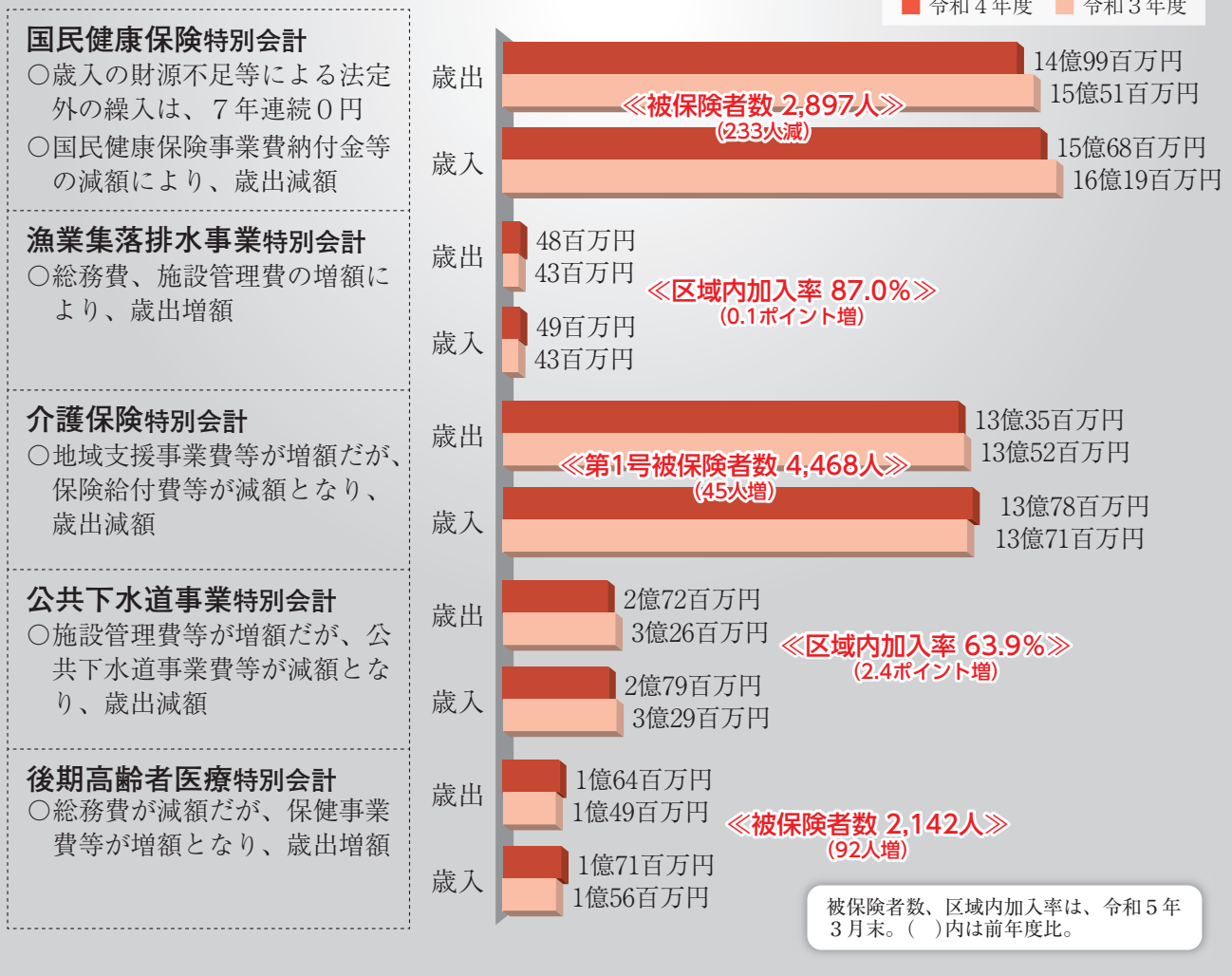
ホール



○大蛇さわやか
トイレ整備事業
34,806千円



特別会計 歳入歳出決算額〈前年度比〉



▽4年度健全化判断比率・資金不足比率 (詳細は『広報はしかみ』10月号をご覧ください)

- 健全化判断比率 実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため、比率はありません。実質公債費比率は10.9%、将来負担比率はマイナスのため比率はありません。
- 資金不足比率 公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計ともに黒字のため資金不足はありません。



監査委員による現地確認

歳出面における増額の主なものは、小舟渡集会所移転新築工事等減額の主なものは、住

見られる。歳出面では、自主財源の根幹である町税は、たばこ税の税率改正等により増額となり、収納率も0.5ポイント増加し、コンビニ収納等の収納施策の効果が

と認める。歳入面では、自主財源の根幹である町税は、たばこ税の税率改正等により増額となり、収納率も0.5ポイント増加し、コンビニ収納等の収納施策の効果が

と認める。歳入面では、自主財源の根幹である町税は、たばこ税の税率改正等により増額となり、収納率も0.5ポイント増加し、コンビニ収納等の収納施策の効果が

【監査意見】
町民・議会・行政が一つとなり、地域サービスを支え合う協働のまちを

代表監査委員 三上孝八
監査委員 下沢育男

▽財政健全化指標
昨年と同様に財政の健全化が保たれている。今後もこの状況を維持することを切望する。

とに期待する。民・議会・行政が一つとなり、地域を支え合う、ともに地域サービスを支え合う協働のまちを築き上げていくことに期待する。

民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金等である。新型コロナウイルス感染症の区分が変更となり、少しずつではあるがコロナ禍前のレベル等が開催など明るい兆しが見えつつある。このような兆しをさらに未来に繋げながら、現在の人口減少や少子高齢化などの問題を解決していくため、町

秋開始接種
**新型コロナウイルスワクチン接種に
 一般会計
 補正予算
 1億4606万1千円を増額補正**
 4182万2千円

▽5年度一般会計補正予算(第2号)

1億4606万1千円を増額補正し、予算総額を57億9093万6千円とする。

【歳出の主なもの】業務可視化・業務フロー作成業務委託料499万円、新型コロナウイルスワクチン接種事業4182万2千円、第5分団屯所移転新築387万7千円等。

▽5年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

690万3千円を増額補正し、予算総額を1億523万円とする。

▽5年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

2651万3千円を増額補正し、予算総額を14億2452万3千円とする。

▽5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

645万7千円を増額補正し、予算総額を1億7228万円とする。

■条例の一部改正

▽階上町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づき、個人番号を利用することができる事務を追加するための一部改正。

■その他

▽階上町教育委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて

1人の委員の任期満了に伴い、石岡れい子氏の任命に同意。(再任)



石岡 れい子 氏

▽人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて

1人の委員の任期満了に伴い、岩谷悦子氏の推薦に同意。(再推薦。法務大臣からの委嘱は、1月1日からの予定です。)



岩谷 悦子 氏

一般質問

第4回定例会では3議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。



ここが聞きたい

★質問内容については、見やすい分かりやすい編集にしましたので、通告内容と順番が異なっている場合があります。

■ 小松 雅彦 議員 6ページ

- 1 旧小舟渡小学校の活用について
- 2 階上町立小中学校統合について

■ 大下 修 議員 7ページ

- 1 小学校児童用机・椅子600セット、30,184千円の物品購入について
- 2 ふるさと応援寄附金推進事業について
- 3 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用した町独自支援事業について

■ 渡部 高明 8ページ

- 1 階上町の地域コミュニティづくりの現状と今後への姿勢について
- 2 階上町の観光振興についての現状と今後の取り組みについて





小松雅彦 議員

旧小舟渡小学校を公共施設として維持管理し、有効活用を

〔町長〕 地元の意見を尊重し、地域貢献の視点に立った有効活用を図りたい



いちご煮祭りの様子

問①

旧小舟渡小学校の活用方法を

巡って、企業誘致を進めているが、果たしてそれでいいのか。一度譲渡すると、町は干渉できなくなり、町の一大イベントいちご煮祭りの継続が出来なくなると思う。また、事業が失敗したときには負の財産だけが残される心配もある。公共施設として維持管理し、知恵を出し合って有効活用するべきと思うが、町長の考えを伺う。

答①

町長

旧小舟渡小学校の活用方法については、地元と協議の結果、民間企業の誘致を進めて欲しいとの意見を尊重し、企業誘致を進めている。3年間の賃料を、無償を含む企業の提案型として実施。3年後の経営状態が良好の場合、無償譲渡する。今年度も再募集する。今後においても、地元の意見を尊重し、地域貢献の視点に立った有効活用を図っていききたい。

問②

跡地を、例えば、商工会、観光ネットワークなど関係団体を中心として、指定管理の形で町の産業、観光の拠点として活用するのはどうか。ハード面は町が、ソフト面は商工会など関係機関が中心となって進めていただきたいが、いかがか。

答②

総合政策課長

活用方法は地元と協議をし、決定してきている。このプロセスを重く受け止め、地元の意見が尊重されるべきと考える。例えば商工会が中心となって応募していただければ受付可能。



いちご煮祭り駐車場の様子

問③

地元の方や関係機関等と意見交換をし、県や国に必要な補助や補助金制度をお願いし、町が中心となって施策を進めていただきたい。この際公募を取り

答③

総合政策課長

下げるか、延期して、住民アンケートで、意見を聞いてみてはいかがか。

〔教育長〕 学習環境を最優先に考え、総合的かつ柔軟性をもって対応していきたく
階上町立小中学校を各1校に統合する考えは

問①

学校は、学力の向上だけでなく、集団の中で多様な価値観に触れ、社会性を身に着ける場所でもあり、学校の規模が小さくなると、十分な教育環境を提供できなくなる可能性がある。また、部活動などは、児童生徒の減少に加え、たくさんの種目の活動がなされ、各校1校では、メンバーを集めることが難しくなってきた。このように多くの問題を抱える中でも、児童生徒が楽しく、健やかに切磋琢磨して、勉強や好きで活動に励み、心も

〔教育長〕 学習環境を最優先に考え、総合的かつ柔軟性をもって対応していきたく

体も豊かに成長していく環境を整えるためにも、小中学校は各1校に統合してはどうか。町の考えを伺う。

答①

教育長

中学校は、令和6年度から中学校再編の検討をしていく予定。小学校は、階上小学校保護者との意見交換を行っており、今後も継続していききたい。統廃合については、部活動等のあり方も含め、児童生徒数の見直しを注視し、子供たちの最適な学習環境を最優先に考え、保護者・地域の方々の声

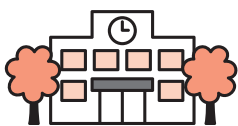
問②

統合には時間がかかる。教育委員会主導で強く前向きに進めてほしい。

答②

教育課長

小学校の統廃合については、現時点では1校への統合にとらわれることなく、町の学校適正規模及び適正配置の考え方を踏まえ、今後の児童数の見直しを注視し、保護者や地域の方々の声を聞きながら、必要かつ適正な時期に検討し、計画に取り組んでいきたい。





大下 修 議員

町独自支援事業を、事業者等に偏って行う理由は？

〔町長〕 昨年度、町民への支援を優先し、事業者への支援を実施しなかったことなどを総合的に判断



令和4年度実施の暮らし応援商品券

令和4年度に町民一人当たり1万円の商品券を、国の交付金に加えて、財政調整基金を取り崩し、町民支援を優先させていた。5年度は、国の交付金の使途について制限が厳しくなり、生活

問① 町独自支援事業 9326万8千円の事業費が、全て事業者だけへの支援となっている。生活者と事業者のバランスのとれた支援が大事である。事業者や指定管理者に偏った支援を行う理由、生活者・納税者に支援しない理由を伺う。

答① 町長

困窮者を対象とする事業のみが対象とされたことや、昨年度町民への支援を優先し、事業者への支援を実施しなかったことなどを総合的に判断し、5年度は事業者への支援を実施する。今後においても、限りある財源を有効に活用しながら、健全な財政運営を堅持し、町民の負託に答えたい。

当町から他市町村へふるさと納税した件数と金額は？

〔町長〕 254人で1,179万1千円

問① ふるさと納税は、地方が自ら財源を確保し、様々な施策を実現するのに有効な手段である。財源の乏しい当町にとって重要な施策であると考えます。

令和4年度に当町にふるさと納税して頂いた方の金額は1208万6千円となっている。当町から他市町村へ納税した方

町内全児童用机・椅子購入の県の財源の名称は？

〔教育長〕 名称は、青森県元気な地域づくり支援事業費補助金

問① 机・椅子の購入金額3018万4千円の予算の内、当初予算では県の補助金1千万円とあるが、その歳入項目の具体的な名称を伺う。

答① 教育長

「青森県元気な地域づくり支援事業費補助金」である。

問② 私が県に行くと調べて聞いたら、出ないことになったはずだが、令和5年度まで出るのか確認したい。

答② 総合政策課長

申請段階では対象になるという回答で申請したが、途中で机と椅子は町がやるものとして対象にならないという結果となった。

答① 町長

当町から他自治体へふるさと納税を行った方については、これまで調査している基礎単位が、ワンストップ特例分を含んだものになる。その調査に基づく、令和4年度の人数は、254人で、金額は1179万1千円。ポータルサイトを利用して寄附を行っている方は、4年度の実績、寄附件数は966件、寄附金額は1208万6千円の内、利用寄附件数963



返礼品一番人気のいちご煮



渡部 高明 議員

地域コミュニティづくりへの
今後の姿勢は

〔町長〕 地区計画を進めていくことが、コミュニティの醸成につながっていくと考える



協働のまちづくり計画書

地域コミュニティの形成は重要と考える。町では、「階上町協働のまちづくり条例」を制定し、町内全19行政区で「協働のまちづくり地区計画」を策定していただいている。現在、この地区計画は、第2次を迎えており、町民と町が一体となった

問①

安心・安全な生活には、地域コミュニティの形成が重要。町の住民が生き生きと暮らせるための地域コミュニティづくりの現状と、今後の姿勢について、町長の考えを伺う。

答①

町長

地区計画を進めることが、地域コミュニティの醸成に繋がると考える。

問②

地域コミュニティづくりの核となる地区集会所の利用頻度が低いと感じたが、柔軟な活用ができないものか。また、運営方法について、改善の余地はないか。さらに集会所の改築・新築並びに内部設備の充実についての計画を伺う。

答②

総合政策課長

集会所は8か所あり、指定管理制度により、行政区長に管理運営をお願いしている。利用促進に關する意見も含め、区長とも相談しながら、地域住民が利用しやすい運営に努めたい。改築・新築・内部設備の充実については、「公共施設等個別施設計画」に基づき計画的に整備を行い、内部設備は、一般コミュニティ助成事業を活用しながら整備を図っていき

問①

観光を町の発展に連動させるには、観光の産業化が必要となる。町の観光の産業化を積極的に進める気持ちはあるか。とりわけ宿泊施設の整備について、町長の考えを伺う。

答①

町長

本町は多くの観光資源を有しており、様々な形で町内外に、魅力を発信してきた。町の魚アブラメのブランド化を図り、新たな産業化につなげた

問②

産業の観光化、すなわち、お金を使った施設がポイントとなる。現在、階上町に観光客向けの宿泊施設があるのかないのか、あるとすればどれぐらいの数、規模か。これまで本格的な宿泊施設ができなかった経緯や、行政において今後そのような計画があるのか伺う。

答②

産業振興課長

観光客向けの宿泊施設は、農家民泊2軒とオートキャンプ場11区画である。これまで宿泊施設ができなかった経緯は、整備には立地場所、施設規模、経営体制などに加え、環境への配慮などといった解決しなければならぬ課題が多かったことによる。今後は、グリーンツーリズムの制度を活用

町の観光の産業化を進める気持ちは

〔町長〕町の魚アブラメのブランド化を図り、新たな産業化につなげたい

町長の考えを伺う。

問①

観光を町の発展に連動させるには、観光の産業化が必要となる。町の観光の産業化を積極的に進める気持ちはあるか。とりわけ宿泊施設の整備について、町長の考えを伺う。

問②

産業の観光化、すなわち、お金を使った施設がポイントとなる。現在、階上町に観光客向けの宿泊施設があるのかないのか、あるとすればどれぐらいの数、規模か。これまで本格的な宿泊施設ができなかった経緯や、行政において今後そのような計画があるのか伺う。

答②

産業振興課長

観光客向けの宿泊施設は、農家民泊2軒とオートキャンプ場11区画である。これまで宿泊施設ができなかった経緯は、整備には立地場所、施設規模、経営体制などに加え、環境への配慮などといった解決しなければならぬ課題が多かったことによる。今後は、グリーンツーリズムの制度を活用



オートキャンプ場の様子



町の魚アブラメ



し農家民泊を増やす取り組みを行い、都市との交流人口の増加や、観光の産業化に繋がっていき

委員会活動 教育民生常任委員会 町内学校視察

10月10・11日の2日間にわたり、教育民生常任委員と教育委員による学校視察が行われました。
各学校を一巡し、授業の様子や校内環境を視察。また、学校運営方針や学校施設の状況などの説明を受けました。

(児童・生徒数は、5月1日現在。学級数には特別支援を含む。【 】は今年度の主な学校目標。〈 〉は各学校の主な取組。

1日目 10月10日(火)

道 仙 小 学 校



玄関に設置している一輪車

児童数：91人、8学級

【相手のことを考えた言葉遣いができる子の育成】

〈運動に目を向ける仕組として、運動用具をすぐ手に取れる工夫をしている。縦割り班による全学年での清掃や遊びの交流も盛ん。〉

道 仙 中 学 校



1年生 理科の授業

生徒数：47人、5学級

【夢や希望をもち、主体的に学習し続ける生徒の育成】

〈学びの振り返りを、次の学びに生かす授業づくりに取り組む。体験活動、小中連携による授業など地域協働の推進。〉

階 上 中 学 校



2年生 数学の授業

生徒数：205人、10学級

【分かるまで工夫しながら学び続ける生徒】

〈仲間とともに良いものを作り上げるための活動に積極的に取り組む。数学、英語において少人数指導等を柔軟に推進。〉

2日目 10月11日(水)

石 鉢 小 学 校



4年生 理科の授業

児童数：208人、10学級

【自分や周りを大切にしながら正しく判断・実行する意識や実践力の育成】

〈授業に集中し、学ぶ楽しさを感じ、学力向上を目指す。学校でなければ味わえない楽しさを味わう。〉

階 上 小 学 校



6年生 算数の授業

児童数：11人、4学級

【相手を意識した伝え合いの育成】

〈コーディネーショントレーニングで総合的な体力作りに取り組む。タブレットを活用しての、新しい授業づくりの推進。〉

赤 保 内 小 学 校



4年生 算数の授業

児童数：219人、11学級

【学び合う力とコミュニケーション力の向上】

〈ユニバーサルデザイン（授業に集中できる環境）に取り組む。駒踊りなど縦割り班活動によるコミュニケーション能力の育成。〉



質疑あれこれ

第4回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

令和4年度決算の認定

大下 修議員

◆決算書への町債残高の未記載

問 決算書に町債残高が未記載であるが適切か。

答 会計管理者 決算書の様式については、総務省令で定める様式を基準としなければならぬ。当町においても法に基づき決算書を作成している。

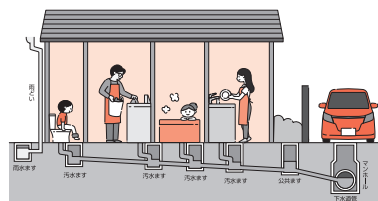
◆公共下水道事業の町債残高

問 今後の下水道事業の町債残高の見通しと借入金返済の財源は。

答 建設課長 残高の返済は、受益者負担金及び主に一般会計繰入金で対応している。今後の見通しは、令和4年度に作成した下水道事業経営戦略を基に進めていく予定。



ハートフルプラザ・はしかみ



◆ハートフルプラザ・はしかみ 指定管理委託料

問 147万円の増額の理由は。

答 介護福祉課長 4年度から8年度まで、再度指定を行う際に、施設管理維持費について見直しを行なった結果、物価高騰の影響もあり経費が増額となった。

◆はしかみハマの駅あるでい

ぐばの自動車借上料

問 リースよりも購入した方がいいと思うが、今後もリースを継続するのか。

答 産業振興課長 リース契約は4年度で満了し、その後は再リース契約を行わず、リース期間を終了した車をあ

小坂正年議員

◆階上アブラメブランド化推進事業費

問 成分分析委託料の内容、委託先、その結果は。また、分析結果を活用した今後の方向性は。

答 産業振興課長 内容は、階上沖の天然アブラメと水産高校の養殖アブラメの成分に違いがあるか。また、養殖アブラメの成分の安定性について分析。委託先は青森県産業技術センター食品総合研究所。結果は、時期による違いはあるが、養殖も天然と遜色ない成分含量であった。今後は、資源確保を中心に、イベントを通じて観光資源開発を実施していく予定。



ハマの駅あるでい〜ば



アブラメの放流の様子

◆安全安心住宅リフォーム支援事業費補助金

問 減額補正により28万円の実績となっているが、その事業内容と、当初の予定件数、実際の件数は。また、今後の事業の方向性は。

答 建設課長 町内事業者を利用した耐震改修とバリアフリー化などの性能の向上に係る工事をした場合に一部を補助する。耐震改修は予定1件に対し実績ゼロ、性能向上は予定3件に対し実績2件。未だ耐震改修等、十分ではないので、今後も事業の継続は必要と考える。



熊谷道雄議員

◆鳥獣被害防止対策事業費

問 クマ捕獲用箱罾はどのような仕様か。購入台数は。また、利用状況と、設置する条件はあるのか。

答 産業振興課長 箱罾は直径65cm、全長1m87cmの筒状。重量80kg程度の鉄製で、2台購入した。利用状況は、クマの出没情報があった場所に設置しており、今年度は道仏追立窪と法師窪に1基ずつ設置した。また現在はイノシシ用としても利用している。設置は、猟友会で、現場の状況を確認し、設置の判断をする。



クマ捕獲用箱罾



大江和夫議員

◆臨時福祉給付金事業費

問 2270万円の不用額の内訳は。

答 介護福祉課長 3年度給付金の対象を1740世帯と見込み、1382世帯へ支給。残りの358世帯分を4年度に繰り越した。その358世帯の内、未申請227世帯分、2270万円が不用額となった。

5年度一般会計補正予算

下沢育男議員

◆新型コロナウイルスワクチン接種事業

問 春接種の対象者、実績は。秋接種の対象者と接種方法、場所、時期は。接種料金の自己負担は。子どもの接種可能年齢は何歳からか。

答 すこやか健康課長 春接種は高齢者と基礎疾患を有する者、医療、介護従事者等で、8月末時点で個別接種が1981人、集団接種が1309人。秋接種は初回接種終了者が対象

で、9月20日から開始。接種料は一人1回無料で受けられ、子どもは生後6か月から接種可能。

国民健康保険特別会計補正予算

大下 修議員

◆出産育児一時金

問 出産育児一時金の補正額の財源の、特定財源のその他の財源は何か。またこの補正額は何人で、いくら支給額か。

答 すこやか健康課長 その他の財源は、一般会計からの繰入金で、全額地方交付税から措置されたもの。補正額は4年度2件分、82万8千円、5年度6件分、300万円。なお、支給額の上限は42万円から、50万円へ改正されている。



議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	会費	10月7日	第34回巨木を語ろう全国フォーラム青森・階上大会交流会費	6,000円
2	会費	10月8日	町消防団第1分団結成100周年記念祝賀会	7,000円
1	祝金	9月17日	令和5年度青森県知事顕彰伝達式並びに町敬老祝金	3,000円

【お知らせ】

9月定例会において、6月定例会での発言の訂正の申し出がありました。これにより、はしかみ議会だよりNo.54の内容が以下になりますので、お知らせいたします。

6p（2段目）産業振興課長の答
・4400万円→4810万円
・3757万1千円→3347万円1千円
・47%→41%

議会改革

～議会基本条例制定に向けて～

【議員研修会】 令和5年8月2日

講師 青森大学社会学部教授 佐藤 淳氏
演題 議会基本条例の意義と作成時のポイント
役場第2会議室で開催。議員14人が参加し、グループワークやカードを用いた研修で、議員間での考え・意見の共有をし、議会改革の必要性を再確認した。



議会活動



8 月

- 2日 議員研修会
- 23日 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会要望活動（青森）
- 29日 議会運営委員会
- 30日 町国保運営協議会
- 31日 町村議会広報研修会

9 月

- 1日 県民駅伝大会結団式
- 5日 第4回定例会本会議
- 5日 議員全員協議会
- 6日 町老人スポーツ大会
- 7日 第4回定例会本会議
- 8日 第4回定例会本会議
- 10日 町消防操法大会
- 14日 町小学生防犯弁論大会
- 17日 青森県知事顕彰伝達式並びに町敬老祝金贈呈式
- 20日 八戸地域広域市町村圏事務組合議員全員協議会

10 月

- 21日 VISITはちのへ×八戸商工会議所開催インバウンドセミナー
- 24日 町民運動会
- 28日 岩手・青森県境交通安全推進大会
- 29日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会定例会
- 6日 議会だより編集委員会
- 7日 第34回巨木を語ろう全国フォーラム青森・階上大会
- 8日 町消防団第1分団結成100周年記念祝賀会
- 10日 教育民生常任委員会学校視察（～11日）
- 12日 国民スポーツ大会実行委員会
- 13日 町表彰審議会
- 16日 議員全員協議会
- 20日 議会だより編集委員会
- 20日 郡議長会臨時総会
- 23日 県外視察研修
- 26日 県議長会正副議長・事務局長研修会
- 27日 議会だより編集委員会
- 28日 町戦没者追悼式
- 29日 畑中弘實氏旭日双光章受章祝賀会

議会だより編集委員会

◇今月号の編集委員（3人）

- ・森 榮吉 議員（総務財政）
- ・下沢 育男 議員（教育民生）
- ・中島 孝一 議員（産業建設）



町村議会広報研修会

8月31日、青森市で開催された「県議長会町村議会広報研修会」に、議員5名が参加。



◆講師 議会広報サポーター
芳野 政明氏

- ◆講演 (1)住民に読まれ、伝わり、議会の見える化へ
- (2)町村議会広報クリニック

編集後記

恐竜出現!! しかも11頭!! そして激しいバトルに!!…久し振りに楽しい秋晴れの運動会でした。この御時世、何が起るかわかりませんが、まずは階上パワーで新型コロナやインフルエンザウイルスを跳ね飛ばし、穏やかな、明るい新年を迎えたいものです。
(森、下沢、中島)

議会傍聴者数 (延べ人数)

- ・第4回定例会
(令和5年9月)
9月5日(4人)
9月7日(18人)
9月8日(5人)

議会を傍聴しませんか



議会の傍聴は、受付票に住所・氏名等を記載し、受付箱に投函するだけで、どなたでも傍聴できます。